

## 電波時計（置時計）取扱説明書

取扱説明書番号 R169-CXXY

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正します
- 暗くなると秒針が停止します
- 電池の交換時期をお知らせします

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

### 発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

#### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

#### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

**お問い合わせに際しては、時計裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。**

例 BRY○○○

**お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y0906)

## 安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

**警告** この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**禁止** この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

**強制** この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### ■誤飲による事故防止について

**警告** 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**分解禁止** 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

**注意** 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

### ■使用場所について

**禁止** 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

## 時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

## 外観について

木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが商品ごとに異なります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

### 標準電波の送信停止について

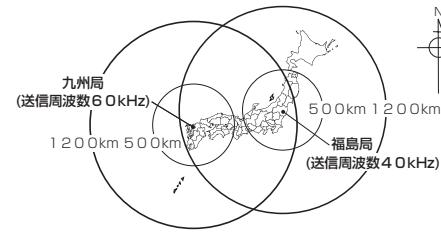
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

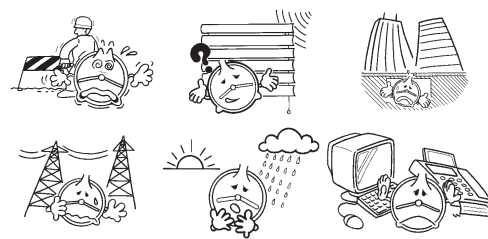


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



## 電池のご注意（電池の正しい使い方）

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

### 電池の種類について

- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓢ **アルカリとマンガン乾電池の混使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。(例：Panasonic オキシライド乾電池)

### 取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- 注意** ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池を充電しない。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池をショートさせない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。

### 液もれが起きてしまったとき

**警告** 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

**注意** もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

### 電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

**注意** 火に入れると破裂の原因となり危険です。

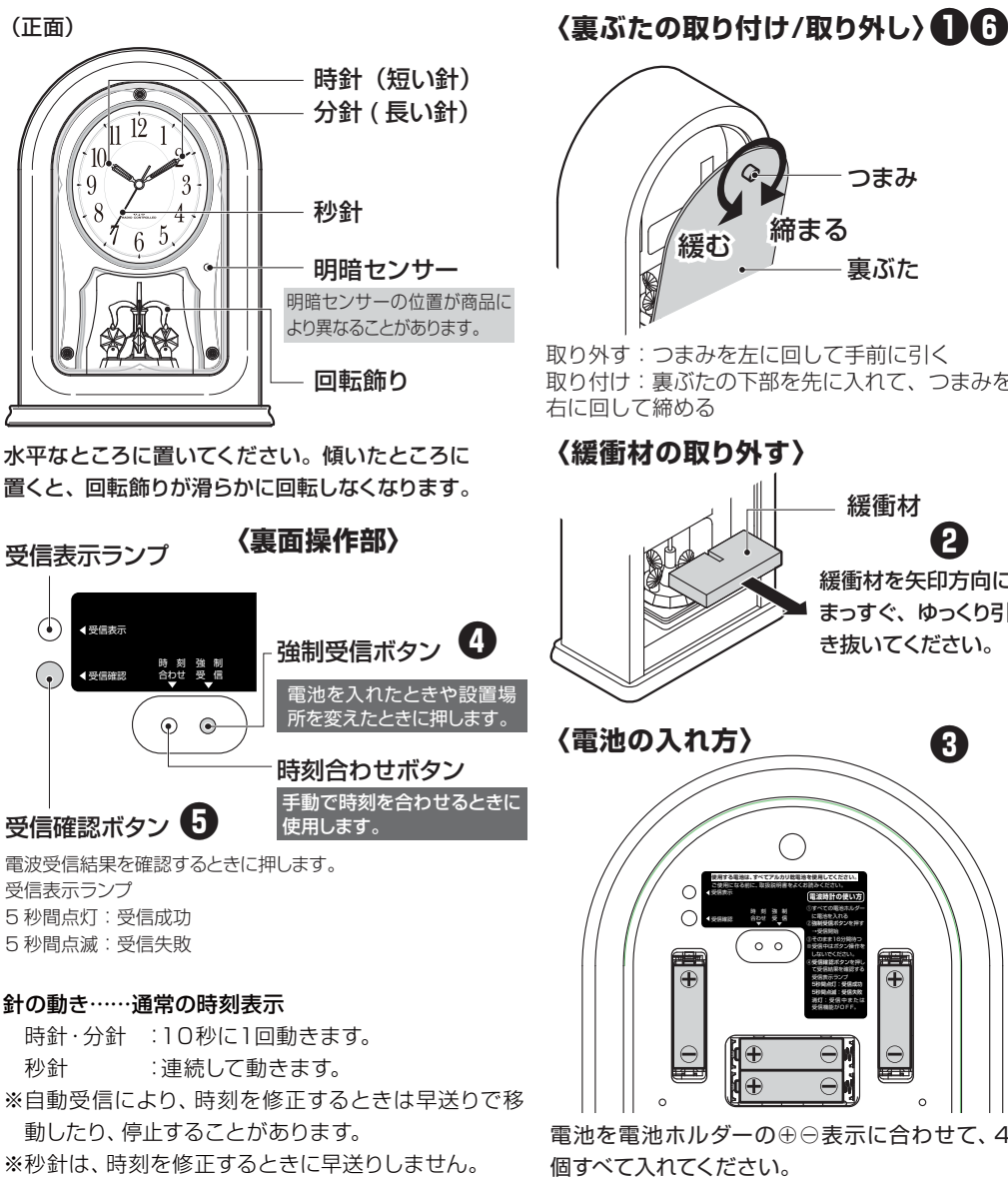
## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	標準電波	受信局自動選択 福島局 40kHz/九州局 60kHz
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度	受信表示ランプによる受信局表示	電波サーチ機能（電波の強弱表示）
標準電波を受信しない場合	平均月差 ±20秒（常温中のクォーツ精度）	電波受信機能 ON/OFF 切り替え	自動受信 最少 1日1回 最多 1日6回
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 4個	受信状態により受信回数は変化します。	受信開始時刻
電池寿命	約2年 標準電波の受信に成功し、明暗センサーにより1日に7時間秒針が停止したとき		2時16分20秒 3時16分20秒 4時16分20秒 12時16分20秒 13時16分20秒 14時16分20秒
明暗センサー	暗くなると秒針が12時位置で停止		
電池交換時期	秒針が明いところでも12時位置に停止		
お知らせ機能	その他 一方向回転飾り		
付属品			
単3形アルカリ乾電池	4個	取扱説明書 本書	保証書 1枚

●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。



図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせる場合は、  
◎標準電波を受信できない場合の「■手動での時刻の合わせ方」を参照してください。

- ◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- 裏ぶたを取り外す
  - 回転飾りを保護している緩衝材を取り外す  
時計を使用するときには、取り外し、輸送するときには取り付けてください。
  - 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れる  
〈電池の入れ方〉参照。  
電池の⊕⊖を逆にすると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
  - 強制受信ボタンを押す **標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方** 参照  
受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針が早送り、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻で停止します。  
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。  
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。  
※受信中はボタン操作をしないでください。
  - 受信開始から16分以上経過してから受信確認ボタンを押す  
受信表示ランプの点灯または点滅で成功/失敗を確認します  
5秒間点灯：受信成功  
5秒間点滅：受信失敗 **◎標準電波を受信できない場合** 参照
- ⑤裏ぶたを取り付ける  
**時計の設置について**

**注意** 水平で振動が少ない安定したところに置いてください。時計が転倒、落下すると人的・物的損害が発生することがあります。

## Ⓐ 明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針を12時位置で停止させます。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

## Ⓑ 電池の交換時期お知らせ機能……秒針が止まる

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。このような状態になったら新しい電池に交換してください。そのまま放置すると、電池からの液もれや誤作動の原因になります。  
※強制受信ボタンを押して受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るいところでも秒針が停止します。

## ◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
  - 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
  - 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
  - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 注意** 液もれだ!

## ◎ 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

## 受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることでご利用になれます。

### ■ 手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送り動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞ **◎電波受信機能のON/OFF操作** 参照。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針が動き始めます。

- 時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送り動きます。
- 時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて

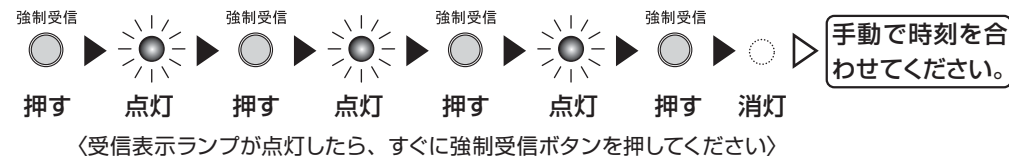
- 時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。
- 秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

## ◎ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。  
電波受信機能をOFFにすると、時間精度はクォーツ精度になります。

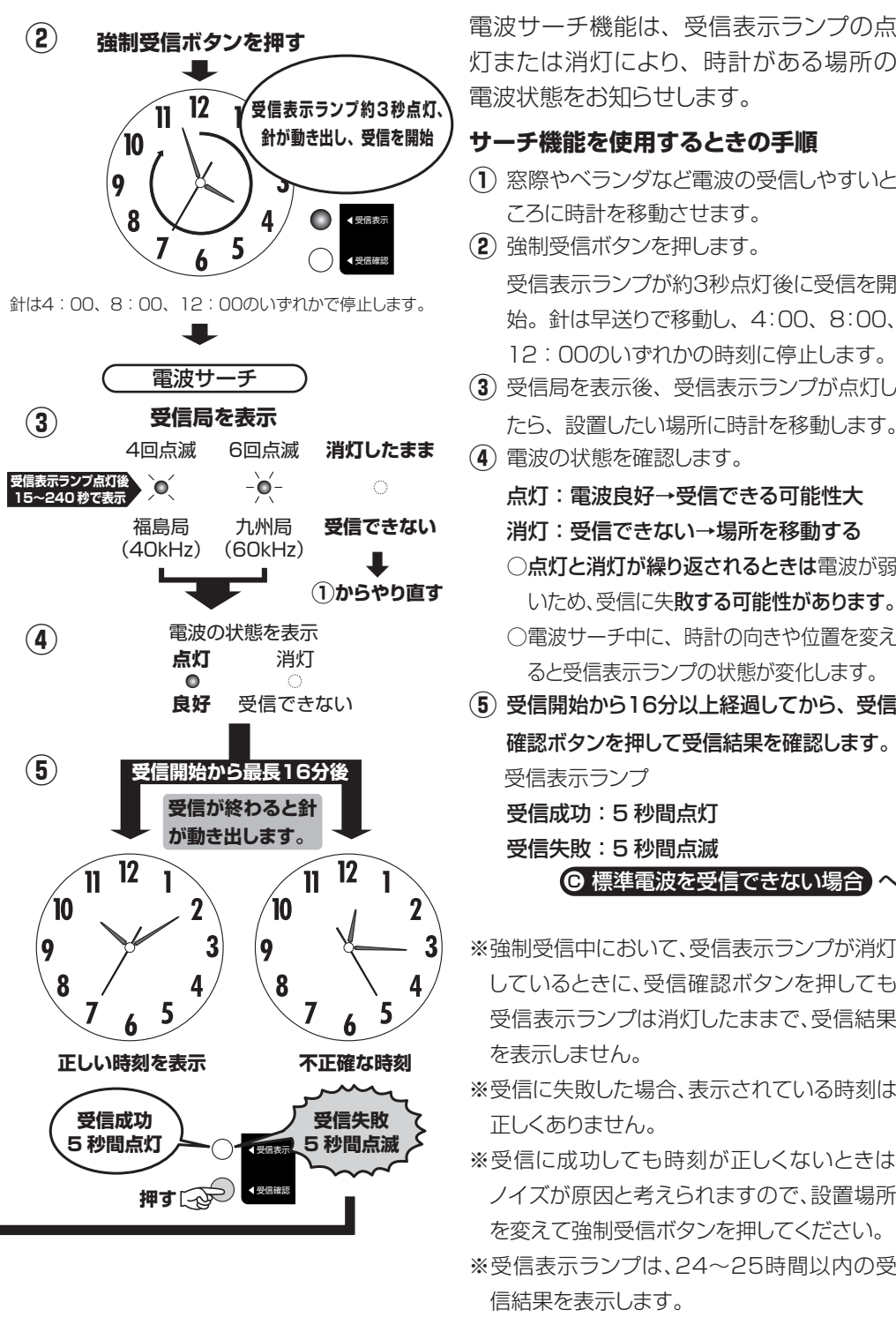
### ■ 電波受信機能を無効 (OFF) にするには (停止するには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送り動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

## 標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方



## 静電気の影響について

静電気により、時間違いなどの誤作動をすることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

### ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。  
※電池を取り出しても長い時間設定を保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ずONにする操作をしてください。

### ■ 電波受信機能を有効 (ON) にするには (開始するには)

電波受信機能を有効にすると、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。工場出荷時の設定は、電波受信機能が有効になっています。  
無効な状態(OFF)から有効(ON)にするには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

